



編集 SEF事務局
 連絡先 03-3358-4434
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「シニアライフ」

理事 石田紘三

シニアライフでの体調の維持・管理の大切さはこの欄でも何度か述べられていますが、予期せぬ出来事は年齢に関係なく何時でも生じるという極当り前のことを最近実感させられました。シニアライフの幹線を長年の夢であった農園作業へと切り替え、充実感を味わいつつあった友人が、いつも使い慣れている耕運機に脚を巻き込まれ、結果片脚を失うと言う大きな災難に遭いました。友人のシニアライフはおそらく大幅な軌道修正が必要でしょう。事故の原因は色々あったかと思われそうですが、一寸した無理や過信もあったのではないかと、自分への戒めにしたいと思います。

その友人は精神的にも強く、40日の入院生活の後、外出許可が出されると即車椅子で畑の方へ来て元気な顔を見せました。趣味であるテニス、ゴルフは諦めざるを得ませんが、これからのリハビリに意欲的な姿勢が見られ、仲間達はエールを送り散会しました。

04月度理事会より (第87回 4月28日)

1. 2009年度(第8期) 決算報告 / 審議・承認	4. 会計担当交代 / 早急に引継工程を決定する
2. 2009年度事業報告 / 審議・承認	5. 会計ソフト変更 / 市販ソフトの導入を決定
3. 2010年度(第9期) 予算 / 審議・一部修正の上承認 (予算書様式の統一化を図る)	6. 事務局長・経理担当報酬見直し / 審議・承認
	7. 準会員入退会 / 報告

事業報告 「クニミネ工業 安全管理コンサルティング 成行」

担当役員 黒山専務理事

SEF賛助会員クニミネ工業(株)に対する全社安全管理コンサルティング業務は3年計画の2年を経過しました。担当する小田会員が月2回の頻度で7工場・2関連会社を巡視・指導を重ねています。具体的な課題の一つとして、夫々の工場毎に定常・非常時の作業手順書(SOP)の見直し、又は新規作成を指示し略出来上がってきました。これから運用に入る段階です。この運用を通じて工場の管理者と作業員の意思疎通が更に活発化し、夫々の工場運営改善ひいては全社を挙げての安全管理体制や意識がより強固になる事を目指しています。

あわせてこのSOP構築が監督署や同社の顧客からも高く評価されつつあり、今後の同社運営に好影響が出ることが期待されています。

SEFサロン 第57回報告 (10/04/26)

担当 水嶋会員

地球温暖化政策にももの申す (講演要旨)

講師 日月博紀氏ご寄稿

著名な気象学者ジェームス・ハンセンが1988年に米国議会で行った証言に端を発して「地球温暖化問題」が表舞台に登場し、IPCCにより肥大化し世界中を迷走している。「地球温暖化問題」に対処するためには、日本国だけでも年間数兆円もの出費が必要であり、仮に、それにより温暖化が沈静したとしても、その前に国家が破綻する可能性もある。一部の人達やグループが我田引水的に利得をえたり、頑なにその出費を拒んでいる国(中国他)だけが繁栄する図式が垣間見える。

(政府にももの申したきこと)

例え二酸化炭素が温暖化の原因でなくとも、限りある資源の節約のために二酸化炭素を削減することはよいことである。しかし、人類活動により排出する全二酸化炭素のわずか1パーセントを削減するために、日本国民と企業に膨大な負担を強い、更に国費でも巨額の資金を出資する愚を行うことは日本国の衰退を速めることとなり狂気の沙汰としか思えない。

同じ出資をするなら、資源・エネルギーを節約・有効利用し地球環境も改善するために、日本が率先して、化石燃料に代わる太陽光利用・原子力利用の更なる改良・開発、また再生可能な新材料・方式(例:マグネシウムを燃料として使用)の重点的な開発を行うことに大きな意義があると思料する。

最後に、ソクラテスの言葉をかみしめてみたい:『我々が知っているのは、『我々は知らないということ』である』

< 次回開催案内 > 日時: 2010年5月26日(水)18:00より 場所: 青学会館内「フィリア」 03-3409-8187
 講師: 鈴木三郎氏(元日本銀行) 演題: 「沖縄返還と密約問題」 - 円・ドル交換を中心に -

04月度会員動向

準会員入会 大村伸夫さん(環境業務支援事業部 推薦理事:加固)	04月末現在の会員数 正会員 37名 準会員 38名 賛助会員 3社
準会員退会 早乙女 定夫さん(ご家庭の事情により)	